

「第2期八雲町教育推進計画」の後期4年次となる令和8年度は、子どもたち一人一人の「自立」「協働」「創造」の育成を目指し、誰一人取り残すことのない学びの実現を一步一步進めるとともに、八雲町の教育理念の具現化を図ってまいります。

こうした考えの下、令和8年度の教育行政の重点施策について、学校教育から申し上げます。

1 自他の価値を尊重し合い、「今」と「未来」につながる教育活動の展開

学校教育では、一人一人の児童・生徒が将来を生き抜く力を身に付けることのほかに、今の学びを今の生活（今を生きること）につなげていくことが重要です。児童・生徒ならびに教員が学びを実生活に結び付ける意識をさらに高めながら、「なぜ学ぶのか」、「誰のための学びか」を考えることを全ての学校で大切にしていきます。

各教科の特質を生かし、教科横断的で各学校の特色を生かした「カリキュラム・マネジメント」を実践できるよう支えるとともに、これまで町内共通実践事項として進めてきた「八雲スタイル」は今年度も継続し、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力等の向上につなげてまいります。

特に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実現する手段として一人一台学習用端末の活用をさらに進めるため、その下支えとして教職員向けのICT研修やGoogleとの連携を継続してまいります。

外国語教育については、ALT（外国語指導助手）を継続して複数配置し、小学校から中学校まで生きた英語教育を実践して、豊かな国際感覚が育まれるよう支援してまいります。

あわせて、校長会、教頭会と緊密に連携を図りながら、最前線で教育活動を担う教員の実践的な指導力を高めるため、研修活動の推進に力を入れてまいります。

2 幼保小中、学校種間の円滑な接続による教育の質的向上

小中一貫教育においては、各中学校区内で目指す15歳の姿を共有し、その実現のため、義務教育9年間を一つのまとまりとして捉え、小学校と中学校を円滑に接続してまいります。

あわせて、幼稚園や保育園で育んだ力を小学校のスタート・カリキュラムにつなげる取組を住民生活課児童係と連携し、段階的に進めてまいります。

また、児童・生徒が急速に減少する熊石地区においては、子どもたちに望ましい教育環境を確保するため、地域の方々と連携しながら、義務教育学校の移行に向け、準備を進めてまいります。

小中一貫型コミュニティ・スクールの取組は、中学校区における学校運営協議会を中核に据え、八雲町の歴史や文化、産業に関する学習機会やキャリア教育を支援する活動を展開し、「地域とともにある学校」の具現化を図ってまいります。

今後、学校運営協議会の代表により構成する「八雲町コミュニティ・スクール連絡協議会」を通じて、それぞれの取組の成果や課題を共有するとともに、町内に広く周知することにより、参画する保護者や地域の方々の意識の高揚に努めてまいります。

今年度をもって、浜松小学校が121年の校史に幕を下ろすこととなりますが、閉校に向けた準備ならびに八雲小学校への移行を円滑に進めてまいります。

3 誰一人取り残すことのない教育の充実

子どもたちが、互いに思いやり、支え合いながら社会の一員として生きていくためには、健やかな心身の成長が極めて大切です。それぞれの発達段階や状況に応じた教育環境の整備が重要であるため、八雲小学校の低学年における25人編成の少人数学級指導を引き続き推進してまいります。

「いじめ」や「不登校」など、子どもたちを取り巻く様々な問題については、これまで取り組んできた教育相談やスクールカウンセラーの活動に加え、昨年度からすべての小・中学校で実施しているピア・サポート事業のさらなる充実を図り、子どもたちの助け合いや支え合いの気持ちをより高めるとともに、自己有用感を育み、子どもたちのウェルビーイングの向上につなげてまいります。また、不登校児童生徒の多様な状況に対応するため、新たにメタバース空間を活用した取組も進めてまいります。

特別支援教育においては、個々の教育的ニーズに応じた支援を行うため、特別支援教育支援員の適切な配置、進級・進学に向けた教育相談、「特別支援教育連携協議会」における実践の積み重ねなど、町ぐるみで特別支援教育を推進してまいりました。今年度はこれまでの取組を検証し、さらに八雲町の特別支援教育を発展させるため、学校教育課に特別支援コーディネーターを配置し、町内の特別支援教育の実

態把握に力を入れてまいります。

経済的理由により就学困難と認められる世帯に対して行う就学援助については、制度の周知を徹底し、必要とする時期に適切な支援が実施できるよう継続して取り組むとともに、高校や大学等への進学者に対する奨学金の貸付事業や、農水産業、商工業後継者に対する養成奨学費の助成を引き続き実施してまいります。

食に関する指導については、栄養教諭を中核として地域の生産者等の協力を得た食育授業を充実するとともに、地元食材を積極的に活用するなど、子どもたちが食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けるとともに、食を通じて郷土への理解をより深めることができるよう取り組んでまいります。

食物アレルギーを有する子どもには、引き続き「八雲町立学校における食物アレルギー対応指針」等に基づき、対応食を調理し提供してまいります。

4 安全・安心な教育環境づくりの推進

児童・生徒の安全確保は、信頼される学校づくりの基盤であり、学校においては、危機管理マニュアルの点検・見直しや防犯・防災教室などの取組を、関係機関や地域の協力を得て計画的に実施するよう指導してまいります。特に、登下校の安全、地震や津波の対応、最近増加傾向にあるクマの出没等については、関係機関との連携を高め、適切な行動ができるように備えてまいります。あわせて、学校の施設・設備については、児童・生徒の健康面の安全と教育環境の充実に継続して取り組むとともに、教職員住宅についても、適切な保守管理に努めてまいります。

また、学校における働き方改革については、教員が子どもたちと向き合う時間や自らの学びを深めるための時間を確保し、より良い学びと魅力ある職場の実現につながるため、国や北海道の方針を踏まえ、校長会をはじめ、家庭・地域と連携し継続して推進してまいります。

次に、社会教育について申し上げます。

5 町民自らが主体的に学び行動する生涯学習社会の実現

町民が心豊かに充実した日々を過ごすためには、生涯を通じて主体的に学び、その成果を生かすことができる社会の実現を図ることが極めて重要であると考えております。

このため、町民の学習ニーズを的確に捉え、各種講座の開催、社会教育団体と連携した様々な芸術文化活動などを推進するとともに、八雲山車行列や 40 回目を迎える八雲さむいべや祭り、八雲町文化祭 70 回記念事業など、地域に根ざした活動の充実が図られるよう支援してまいります。

八雲町の文化財については、木彫り熊の継承に向け、制作する方々のすそ野を広げるため、引き続き木彫り熊講座の拡充に努めるほか、様々な文化財の適切な保存・活用を通じて、郷土への愛着や誇りを育み、歴史文化への関心と理解がより深まるよう、各種講座の開催や情報発信に努めてまいります。

社会教育関係施設については、施設の老朽化に対応し、より利用しやすい施設の運営と維持管理に努めてまいります。

図書館については、適切な資料収集と町民サービスの提供に努め、計画的な巡回図書の実施と各施設内の図書コーナーの充実を図りつつ、図書館事業を通じて、家庭や地域、学校など社会全体で子どもたちが読書に親しむ機会の充実を図るとともに、館内のエアコン設置に取り組み、来館者が快適に利用できるよう施設の維持管理に努めてまいります。

さらに、ボランティアによる様々な文化的事業の企画・運営を積極的に支援するとともに、ロビーの活用についても、町民の文化活動や発表の場として利用促進に努めてまいります。

6 心身の健康を目指した社会体育・スポーツの確立

八雲町のスポーツ振興は、スポーツ協会、スポーツ少年団本部などの関係団体の献身的な活動によって支えられ継続してまいりました。今後も、町民の自主的で継続したスポーツ活動を促進するとともに、こうした活動を通じて豊かな人間関係を築き、温かく活気あふれる町づくりにつなげていくことが重要であると考えております。

八雲町出身のアスリートは高い目標に向かって果敢に挑戦しており、町内の子どもたちも各種競技で優秀な成績を収め、町民に感動と勇気を与えています。

一方で、少子化の影響もあり、チーム編成が困難な団体競技が見られる中学校部活動の地域展開については、子どもたちが将来にわたり地域でスポーツや文化芸術活動に継続的に親しむことができる機会を確保するよう、実施可能な活動から着実

に進めてまいります。

また、関係団体との連携によるスポーツ大会の開催やスポーツ教室の企画・実施など「するスポーツ」の推進のほか、「見るスポーツ」、「支えるスポーツ」など、世代に応じた健康の維持・増進の取組を推進し、スポーツに関する情報の発信やスポーツ機会の提供に努めてまいります。あわせて、スキー場の大規模な設備改修や温水プールの設備更新を行うなど、誰もが安全にスポーツに親しめる体育施設の維持管理に努めてまいります。

加えて、八雲町の気候や自然を活かしたスポーツ合宿の誘致活動にも取り組んでまいります。

以上、令和8年度の教育行政の執行に関する方針の大綱について申し上げます。

自然豊かな八雲の地において、ふるさとに誇りをもち、これからの社会を担っていく人材を育成するため、地域づくりの基盤は教育にあるとの信念の下、学校・家庭・地域の皆さんと一丸となって、八雲町の教育の充実・発展に取り組んでまいりたいと考えておりますので、議員ならびに町民の皆様の御理解と御支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。